

# 令和4年度版 学習資料「一家に1枚」のテーマ

2019 日本列島7億年



2020 南極



2021 海

2018 量子ビームの図鑑



2005 元素周期表



2017 生きものすべては細胞から



2006 ゲノムマップ



2016 水素



2007 宇宙図

- ・募集期間：令和3年5月14日(金)～6月30日(水)
- ・第18作目「一家に1枚」のテーマを募集します
- ・採択テーマは外部有識者で構成する委員会での審査を経て決定されます

令和4年度版「一家に1枚」は  
全国の小・中・高等学校、  
科学館・博物館などに  
29万枚程度配布される  
予定です



2008 光マップ



2009 天体望遠鏡400年



2015 くすりの形



2014 動くタンパク質



2013 鉱物



2012 太陽



2011 磁場と超電導



2010 未来をつくるプラズマ

文部科学省では、毎年、科学技術週間にあわせて学習資料「一家に1枚」を制作しています。  
過去の作品(全17作)は下記WEBサイトに掲載中ですので、ぜひご覧ください。  
科学技術週間ウェブサイト <https://stw.mext.go.jp/series.html>



科学技術週間

## 応募要領及び制作の進め方等について

### 1. 学習資料「一家に1枚」とは

文部科学省では、国民の皆様が科学技術に触れる機会を増やし、科学技術に関する知識を適切に捉えて柔軟に活用いただくことを目的として、学習資料「一家に1枚」を制作しています。学習資料「一家に1枚」シリーズの原点である「一家に1枚 元素周期表」は、玉尾皓平先生(京都大学 名誉教授)の「美しくかつ豊富な情報を含んだ周期表を各家庭に普及させ、身の回りのものは全て元素からできていること、そして科学技術の発展とその恩恵をふだんの日常生活の中で広く認識してもらえる状況を構築したい」との熱い思いから生まれました。

学習資料「一家に1枚」シリーズの基本コンセプトは次のとおりです。

- ① 見た目にインパクトがあり、印象的で、大人から子供まで部分的にでも興味を持てるもの
- ② 見た目がきれいで、部屋に貼っておきたくなるもの
- ③ 基礎的・普遍的な科学知識を中心とするもの
- ④ 身近な物や事象との関連付けをして、親しみを持てるもの
- ⑤ A1判及びA2判サイズの両サイズにおいて、1枚で見やすいもの
- ⑥ 身のまわりでいつも科学の発展と恩恵を意識してもらえるようなもの

これまで17種類の制作を行ってきましたが、令和4年度の第63回科学技術週間にあわせて18種類目を制作するにあたり、監修をしていただく方を募集します。

### 2. 学習資料「一家に1枚」の配布先

令和4年度の科学技術週間(毎年、「発明の日」である4月18日を含む1週間)にあわせて、18種類目の学習資料を全国の小学校・中学校・高等学校等(約35,000校)に配布を予定しています。また、配布協力機関(令和3年度分配布実績:約250機関)を通じて、一般の方へ10万部程度無償で配布を予定しています。

### 3. 学習資料「一家に1枚」の種類と募集の内容

学習資料「一家に1枚」の企画及び内容に関する監修をしていただく方(監修者)を募集します。学習資料「一家に1枚」シリーズは、見た目がきれいで分かりやすいビジュアルと、一般の方の科学への興味を喚起する内容との両方が重要となるため、監修者には科学技術と社会との関係の深化に熱意のある方を求めています。

なお、監修者の方には、ボランティアとして制作に御協力いただくこととなりますことを、あらかじめお断り申し上げます。(本件制作における文部科学省からの予算負担は、デザイン制作費及び印刷費を予定しております。)

御応募の際には、別紙フォーマットに『テーマ名(「一家に1枚 ○○○」等)』、『コンセプト及び学習資料の内容やデザインのイメージ(どのような内容を紙面で表現するのか)』、『内容の概要』、『対象への訴求点』、『類似業務に関する実績』、『監修者の御氏名・御所属』、『連絡先』を記載し、人材政策課宛てにメール([stw@mext.go.jp](mailto:stw@mext.go.jp))又は郵送にて御応募ください。既存の作品のテーマと重複がなければ、過去に本件へ御応募頂いた企画での再応募も可能です。

**【応募締切日時】** 令和3年6月30日(水)17時 (※締切厳守)

#### 【補足・留意事項】

- ・科学技術の専門知識を持たない一般の方や小中学生等にもわかりやすい企画案を募集します。
- ・学習資料(A1またはA2サイズの1枚紙)という媒体の性質上、細かい文字だけが詰まった紙面ではなく、図や写真等を活用した見やすくわかりやすい成果物の制作を想定しています。

- 例えば学校教育の場等でも活用いただけるような Web への展開も想定しています(学習資料のテーマに関係するが紙面に載りきれない細かい情報を特設 Web 上に掲載する等)。その際もご協力いただくことを予定しています。
- 監修者には、学習資料「一家に1枚」本体の制作に加え、テーマと内容が連動した媒体(特設 Web サイト等)や、令和4年度版科学技術週間告知ポスター(学習資料「一家に1枚」とデザインや内容を連動させたものとするを予定しています)の制作にも御協力いただくことを想定しています。また、テーマ決定から学習資料「一家に1枚」の配布までの期間、広報媒体の作成を含め様々な広報活動にもエフォートを割いていただくことが想定されるところ、応募にあたっては上記に御協力いただけますことを要件としております。
- 募集対象はあくまで科学技術をテーマとする学習資料ですが、内容の一部に学習資料のテーマに関連する人文社会科学的な内容が含まれていても構いません。(例えば、「防災」というテーマで、科学技術による地震のメカニズム解明と古文書による過去の分析の両方を取り上げる等、様々な提案を歓迎します)。

#### 4. 選考方法、選考後のスケジュール等

企画の選考は、外部有識者を含めた企画選考委員会にて行います。選考の際には、文部科学省において、企画提案者によるプレゼンテーションをお願いすることを予定しています。なお、その際に発生する旅費等は応募者の御負担となりますことを、あらかじめ御了承願います。

企画の選定後、学習資料の制作を開始します。企画採用者(監修者)には、文部科学省及びデザイン会社と密に連携をとりながら制作に携わっていただくこととなります。具体的には、学習資料に掲載する専門用語の解説やコラムに係る執筆等を中心に、当該テーマの専門家として学習資料の内容に関する監修をお願いすることとなります。その際、学習資料制作に必要な打合せへの出席やメールでの指導等をお願いすることとなりますので、御承知おき願います。

なお、デザイン会社は文部科学省にて選定します。

デザイン会社から文部科学省への版下納品後、印刷作業に入ります(約29万枚を予定)。

また、学習資料全体の著作権は、文部科学省に帰属することになりますので、あらかじめ御承知おき願います。

#### 今後のスケジュール(予定)

令和3年度 6月30日	企画募集締切り
<b>7月上旬</b>	<b>企画選考委員会による選考、テーマ決定</b>
7月上旬	
~8月中旬	デザイン制作会社決定
<b>9月上旬</b>	<b>制作開始</b>
12月下旬	デザイン完成
2月上旬	印刷用版下の納品
3月中旬	印刷物の納品
3月下旬	配布協力機関、教員委員会等へ発送
令和4年度 4月中旬	教育委員会等を通じ全国の小中学校等へ配布
(科学技術週間中)	配布協力館等において、一般の方に配布



## これまでの学習資料「一家に1枚」シリーズについて(全17種類)

(対象の科学技術週間における年度表記)

下記の学習資料「一家に1枚」シリーズは、科学技術週間ホームページ(<https://stw.mext.go.jp>)よりダウンロードが可能です。是非御参照ください。

### 一家に1枚「元素周期表」(平成17年度)

制作・著作:文部科学省、企画・制作:(株)化学同人、監修:日本化学会、日本物理学会、日本薬学会、日本微量元素学会、高分子学会、応用物理学会、企画協力:玉尾皓平(京都大学・理化学研究所)、桜井弘(京都薬科大学)、寺嶋孝仁(京都大学)、竹内敬人(神奈川大学)、(株)化学同人

### 一家に1枚「ゲノムマップ」(平成18年度)

監修:文部科学省、著作・販売:科学技術広報財団、企画:文部科学省科学研究費・特定領域研究「ゲノム」4領域、企画協力:藤山秋佐夫(国立情報学研究所)、加藤和人(京都大学)、制作:京都大学大学院生命科学研究所・生命文化化学研究室

### 一家に1枚「宇宙図」(平成19年度)

監修:文部科学省、日本天文学会天文教材委員会、著作・販売:科学技術広報財団、企画:国立天文台、天文学普及プロジェクト「天プラ」、制作:「一家に1枚宇宙図」制作委員会

### 一家に1枚「光マップ」(平成20年度)

制作・著作:文部科学省、監修:河田聡(理化学研究所)、制作:河田聡、藤田克昌、庄司暁、協力:NPO 法人フロンティア・アソシエイツ、河田芹菜

### 一家に1枚「天体望遠鏡400年」(平成21年度)

制作・著作:文部科学省、監修:日本天文学会天文教材委員会、企画:国立天文台、制作:「一家に1枚天体望遠鏡400年」制作委員会

### 一家に1枚「未来をつくるプラズマ」(平成22年度)

制作・著作:文部科学省、制作・監修:プラズマ科学連合プラズママップ制作委員会、企画・編集:プラズマ科学連合、(株)荒川印刷

### 一家に1枚「磁場と超伝導」(平成23年度)

制作・著作:文部科学省、企画・監修:低温工学協会、制作協力:下山淳一(東京大学)、石山敦士(早稲田大学)、沼澤健則(物質・材料研究機構)、淡路智(東北大学)、廿日出好(豊橋科技大)

### 一家に1枚「太陽」(平成24年度)

制作・著作:文部科学省、企画・監修:天文教育普及研究会、制作協力:一家に1枚「太陽」制作委員会

### 一家に1枚「鉱物」(平成25年度)

制作・著作: 文部科学省、企画・監修: 日本鉱物科学会、制作協力: 一家に1枚「鉱物-地球と宇宙の宝物-」制作ワーキンググループ

### 一家に1枚「動く! タンパク質」(平成26年度)

制作・著作: 文部科学省、企画・監修: 日本生物物理学会、制作協力: 一家に1枚「動く! タンパク質」制作ワーキンググループ

### 一家に1枚「くすりの形」(平成27年度)

制作・著作: 文部科学省、企画・監修: 上杉志成(京都大学)、土佐尚子(京都大学)、飯吉透(京都大学)、制作協力: 京都大学物質・細胞統合システム拠点、京都大学化学研究所

### 一家に1枚「水素」(平成28年度)

制作・著作: 文部科学省、企画・制作: 大友季哉、宇佐美德子、餅田円、大島寛子(高エネルギー加速器研究機構)、監修: 折茂慎一(東北大学 WPI-AIMR/金属材料研究所)、阿部仁、池田一貴、岩野薫、木村正雄、熊井玲児、千田俊哉、山田和芳(高エネルギー加速器研究機構)

### 一家に1枚「生きものすべては細胞から」(平成29年度)

制作・著作: 文部科学省、企画: 京都大学 iPS 細胞研究所、制作・監修: 中内彩香(京都大学 iPS 細胞研究所)、遠山真理(総合地球環境学研究所)、野口悦(大阪大学大学院医学系研究科)、川上雅弘(奈良先端科学技術大学院大学)

### 一家に1枚「量子ビームの図鑑」(平成30年度)

制作・著作: 文部科学省、企画・制作・監修: 安居院あかね、鈴木國弘、足立恵美子(量子科学技術研究開発機構)

### 一家に1枚「日本列島 7 億年」(平成31年度)

制作・著作: 文部科学省、企画: 一般社団法人日本地質学会、監修・アートディレクター: 辻森樹(東北大学)、磯崎行雄(東京大学)

### 一家に1枚「南極」(令和2年度)

制作・著作: 文部科学省、企画・制作・監修: 本吉洋一、江尻省、橋田元、渡辺佑基、中村卓司、野木義史、富川喜弘、川村賢二、三浦英樹(大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立極地研究所)

### 一家に1枚「海」(令和3年度)

制作・著作: 文部科学省、企画・制作・監修: JAMSTEC(大河内直彦、豊福高志、田村貴正、市原盛雄、外崎瞳、藤本憲章、麻生達也、新田洋一郎、他)、写真提供: JAMSTEC、長崎大学、協力: 国土交通省

令和4年度版学習資料「一家に1枚」 企画案 (応募用紙)

※厳密な枚数制限はありませんが、おおむね2～5枚程度を目安に作成ください。

1. テーマ名	
2. コンセプト及び紙面のイメージ (300字程度) ※本紙とは別に、パワーポイント等で、学習資料の構図(イメージ)をご提出ください(構想段階のもので構いません)。	
3. 内容の概要 (全体の構成及びコラム部分について、どういうものを掲載するか、令和4年度に取り上げるべき理由等)	

<p><b>4. 対象への訴求点</b>  (特に小・中・高校生に  対し、対象となるテーマがどのような関係性を持ち、将来的にどのような展開が期待できるのか、等)</p>	<p><u>小学生</u></p> <p><u>中学生</u></p> <p><u>高校生</u></p> <p><u>その他</u></p>
<p><b>5. 類似業務に関する実績</b>  これまでのポスター、広報媒体等の制作経歴をご記入ください(制作物の添付も可)</p>	
<p><b>6. 監修者*</b>  <b>(御氏名・御所属)</b>  ※監修者については複数も可ですが、制作にあたり文部科学省との窓口になって頂く方(代表者・1名)をご記入ください。</p>	
<p><b>7. 連絡先</b></p>	<p>(組織名)  (部署名)  (担当者様氏名)  (電話)  (E-mail)</p>

※ 選考結果については、上記連絡先に連絡いたします。また、選考前に別途資料を求める場合もありますので、連絡先は必ず御記入願います。